



戸田1年生、まちを行く!

第35回 私たちが出すごみの行方を探れ!



「はたらく車」が大好きな息子。消防車に始まり、救急車、パトカー、そして今ハマっているのが「ごみ収集車」だ。清掃員さんが投げ込むごみをバクバク食べていく謎の車、との認識らしく、興味津々。ある日、いつものようにごみが飲み込まれていくさまを食い入るように見つめていた息子がポツリとつぶやいた。「このごみたちは、どこへ行くの?」そうだ、よくぞ気付いた、我が息子よ。ごみは出して終わりではないのだ。ごみを安全かつ適切に処理してく

れる人たちがいるからこそ、私たちは快適に暮らすことができる。その素朴な疑問と興味、親として見逃してはならないと、早速調べてみたところ、戸田市で出たごみは「蕨戸田衛生センター」へ運ばれるらしい。以前は小学校の社会科学見学で訪れる機会があったようだが、今はコロナの影響で少人数での見学に絞っており、家族単位での申し込みも大歓迎とのこと(しかも無料!)。さあ、ごみの行方を知るべく、いざ見学スタート!

今月の注目スポットはここ!

蕨戸田衛生センター



住所
戸田市美女木北1-8-1
電話番号
421-2801
施設見学
月～金曜日、要予約

戸田市と蕨市から出る一般家庭ごみを処理する施設です。もやすごみの焼却のほか、もやさないごみや粗大ごみの処分、資源ごみのリサイクル、し尿処理などを行い、「まちのきれい」を守っています。ごみを燃やす際の熱でつくられた電力は、センター内の稼働のほか、市役所や小学校などの公共施設でも使われており、「循環型社会」の実現に向けてさまざまな取り組みを行っています。

プチお役立ち情報

蕨戸田衛生センターでは、粗大ごみとして搬入された家具を再生工房で修理し、市民の皆さんへ販売しています。入札方式で、300円～8,000円という格安価格で買い取りが可能! また、併設のリサイクルフラワーセンターでは、家庭から出た生ごみを花苗と交換できるサービスも人気です。



イラストレーター
アイヨウコ

埼玉県民。イラストレーター。小・中学生男子2児の母。家事に仕事に育児に毎日バタバタ過ごしています。我が家は私がゴミ分別警察になっていますが、全く改善されないので取締りをより一層強化したいと思っています。

こちら、とだっ子情報局

とだっ子情報局では、戸田にまつわる楽しい情報をクイズ形式でお届けします。今回は、蕨戸田衛生センターのごみ処理場についてのクイズです。



次の中で、「もやさないごみ」として捨ててはいけないものがあります。さて、どれでしょう?



答えは「全部」!

皆さんの家庭から集められた粗大ごみやもやさないごみは、「破砕機」というごみを細かくする機械にかけられます。その過程で、ごみ処理場の職員が頭を悩ませているのが、スプレー缶やバッテリーなどの混入です。破砕機は高速で回転してごみを砕くため、火花が散ります。そのため、缶が爆発したり、バッテリーの発煙や発火が起きる恐れがあります。特に、二次電池と言われるバッテリーは一度発火すると燃え続けてしまい、とても危険です。皆さん一人ひとりの心がけがこうした危険な事故を防ぐことに繋がります。皆さんも、使い終わったものは正しく分別してから捨てましょう。



モバイルバッテリーなどのごみは小型家電回収ボックスへ

作業員がひとつひとつ手作業で危険物を取り除いています

① 古いモバイルバッテリー



② 切れたガスボンベ



③ 動かなくなったハンディファン

